

JAMA NEWS

NO. 38

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学大学院会計研究科 日本管理会計学会事務局

学会の将来について思うこと

会長 原田 昇 (目白大学)

昨年、立命館大学で開催された全国大会において学会長と理事の役員選挙が行われ、はからずも浅学非才な私が会長に選出されました。学会員のみなさまから多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、その重責の大きさを強く感じています。近年、欧米を中心に管理会計がその地位を低下させて、大学の講座も減少しています。こんな折に会長の重責を担えるかを慎重に考えてきました。その結果、管理会計に関する知識の体系は、その教育体系の中でどのように位置付けられようと、現在も今後も管理会計の規範性を維持し発展できるとの結論に至りました。もちろんグローバル化する環境の中で学会のあり方が根本的に問われることになるでしょう。

そこで学会の発展を更に推進することを主眼として、下記の重点項目を学会運営方針として考えています。

第1に、学会の発展に必要な運営は、歴代の会長による学会活動の英知を継承し、その英知の集積にもとづいて新たな学会の発展を模索することに重点を置きます。折しも3年後には3選禁止規定の導入による役員選挙が行われます。そこでは新しい役員による学会の運営が行われ、人事刷新がなされることでしょう。私たちの執行部はこの新たな役員への橋渡しとしての重要な役割を担うことになります。

第2に、学会の中核的役割が研究へのサポートにあり、その意味で学会誌の編集方針は会員にとって極めて重要な意味をもちます。ダブルブラインド・レフェリー制による学会誌の発刊を維持しつつ、多様性を包含する学

会誌のあり方を模索したいと思います。その手始めとして掲載論文の受付から受理・査読・編集に至る過程を簡素化しその電子化を推進します。このことはどの地域からも平等に多様な投稿者を募ることを可能にします。

第3に、研究者同士による相互研鑽の場所として、全国大会、フォーラム、企業研究、リサーチセミナー、地方部会をそれぞれ開催します。各研究会はそれぞれ役割分担を明確にして差別化するとともに、その統一的視点から特に理論と実務の架橋を目指してテーマ性をもって運営していきたいと存じます。

また研究の深化は1学会に限定することなく他の学会や団体との連携を強化することによって可能となります。日本原価計算研究学会やアジア太平洋管理会計学会(APMAA)とのコラボレーションは順調に互いの特徴を生かしながら展開されています。さらに国際化・グローバル化に備えて提携を強化します。国際化の視点から日本的経営を正確に把握する理論的または実証的な研究を促進し、その成果を海外に発信することも重要な課題です。

第4に、若手研究者や大学院生の養成も学会の使命と見なされます。このような研究活動を支援する活動も学問の発展にとって重要なことと認識しています。

以上の視点を含めて学会運営について会員からの忌憚のないご意見を賜り、それを忠実に反映しながら学会の発展に尽力したいと考えています。会員のみなさまには、ますますご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

新役員決定

▼ 副会長4名決定

2014年3月8日開催の「みなし理事会」での審議の結果、4名の副会長が選任されました。

▼ 常務理事24名決定

2014年3月8日開催の「みなし理事会」での常務理事

の選挙の結果、15名が常務理事に選任されました。なお、前執行部の会長・副会長5名については役員選任規程第8条により常務理事に選任されることになっています。また、2014年4月26日開催の「理事会」で役員選任規程第9条により常務理事4名が選任されました(参照:

新役員一覧の*印)。

▼ 理事 9 名追加決定

2014年3月8日開催の「みなし理事会」での審議の結果、役員選任規程第6条(3)により選任される理事として9名が選任されました(参照:新役員一覧の*印)。

▼ 顧問 3 名決定

2014年4月26日開催の常務理事会での審議の結果、役員選任規程第10条により選任される顧問として3名が選任されました。

▼ 参事 8 名決定

2014年4月26日および7月26日開催の常務理事会での審議の結果、8名の参事が選任されました。

新 役 員 一 覧

(敬称略, 任期: 2014.4.1~2017.3.31)

■ 会 長	水野一郎 (関西大学)	平井裕久 (高崎経済大学)
原田 昇 (目白大学)	皆川芳輝 (名古屋学院大学)	星野優太 (名古屋大学)
■ 副 会 長	門田安弘 (筑波大学)	宮本寛爾 (大阪学院大学)
青木雅明 (東北大学)	柳 良平 (エーザイ(株)) ※*	森 久 (明治大学) ※
大島正克 (亜細亜大学)	吉岡正道 (東京理科大学)	安酸建二 (近畿大学) ※
木村彰吾 (名古屋大学)	横山和夫 (公認会計士) ※*	山下裕企 (青山学院大学)
清水 孝 (早稲田大学)	■ 理 事	吉村 聡 (流通経済大学)
■ 常務理事	青木章通 (専修大学)	渡辺岳夫 (中央大学)
浅田孝幸 (立命館大学)	飯島康道 (愛知学院大学)	■ 顧 問
新江 孝 (日本大学)	伊藤克容 (成蹊大学)	石崎忠司 (松陰大学)
李 健泳 (新潟大学)	伊藤嘉博 (早稲田大学)	田中雅康 (東京理科大学)
伊藤和憲 (専修大学)	井岡大度 (国士舘大学)	山田庫平 (明治大学)
上埜 進 (甲南大学) *	今林正明 (目白大学) ※	■ 監 事
片岡洋一 (東京理科大学)	内山哲彦 (千葉大学) ※	小宮山賢 (早稲田大学)
河合 久 (中央大学)	大下丈平 (九州大学)	斎藤孝一 (南山大学)
菊井高昭 (東京学芸大学)	小倉 昇 (青山学院大学)	鈴木浩三 (東京都庁)
小菅正伸 (関西学院大学)	尾畑 裕 (一橋大学) ※	■ 参 事
清水信匡 (早稲田大学)	梶原武久 (神戸大学) ※	岩田弘尚 (専修大学)
園田智昭 (慶應義塾大学)	片岡洋人 (明治大学)	庵谷治男 (長崎大学)
田坂 公 (久留米大学)	小林啓孝 (早稲田大学)	楠由記子 (青山学院大学)
辻 正雄 (早稲田大学) *	昆 誠一 (九州産業大学)	杉山善浩 (甲南大学)
長坂悦敬 (甲南大学)	佐藤紘光 (早稲田大学)	松田康弘 (東北大学)
長屋信義 (産業能率大学)	澤邊紀生 (京都大学)	間普 崇 (関東学園大学)
長谷川泰隆 (麗澤大学)	白銀良三 (国士舘大学)	吉岡 勉 (産業能率大学)
浜田和樹 (関西学院大学)	鈴木研一 (明治大学)	渡邊直人 (大東文化大学)
平岡秀福 (創価大学)	鈴木孝則 (早稲田大学) ※	

役 員 業 務 分 担

業務内容	責任者	メンバー (※は副責任者)
フォーラム	青木副会長	※田坂・水野常務理事, 園田常務理事, 内山理事, 細海, 松田参事
企業研究・工場見学	大島副会長	※長谷川・皆川常務理事, 園田常務理事, 青木(章)理事, 吉岡参事
リサーチセミナー	木村副会長	※清水・李常務理事, 浜田常務理事, 小倉理事, 楠参事

地方部会	木村副会長	※大下理事, 田坂・水野常務理事, 楠参事
内外学会コラボレーション	浜田常務理事	※小菅・門田常務理事, 浅田・辻・平岡常務理事
実務家交流	横山常務理事	※長屋・柳常務理事, 長坂・皆川常務理事, 宮本理事
学会誌	上埜常務理事	※青木副会長, 長坂常務理事 浅田・園田常務理事, 佐藤・鈴木(孝)・安酸理事, 杉山参事
学会賞 (論文賞・文献賞・奨励賞)	水野常務理事	原田会長, 大島副会長, 新江・上埜・菊井常務理事, 尾畑理事
広報 (JAMA NEWS・HP 等)	青木副会長	※伊藤・河合常務理事, 安酸理事, 木村(史), 岩田・間普参事
会員・寄付・募金	横山常務理事	※片岡常務理事, 浅田・辻常務理事
予算・決算・総務	清水副会長	
記念事業	辻常務理事	※平岡常務理事, 原田会長, 小倉理事

各種業務計画

フォーラム担当

東北大学 青木雅明

2014年度のフォーラムのスケジュールは以下の通りです。

- 第1回 (2014年4月26日) 早稲田大学 (辻正雄大会準備委員長) で開催しました。
- 第2回 (2014年7月26日) 首都大学東京 (細海昌一郎大会準備委員長) で開催しました。
- 第3回 (2014年12月頃予定): 決まり次第お知らせ致します。

フォーラムは、研究者だけではなく、実務家の方にも報告していただき、幅広い知識を得られるような場にしていきたいと考えています。また、次世代の研究者を育成していくという意味で、大学院生が報告できるような工夫をしていきたいと考えています。

年3回の開催を予定しており、関東・関西・それ以外の地域で各1回の開催を考えています。開催のお願いをすることがあるかもしれませんが、よろしくお願い致します。また、統一論題を決めディスカッションを行いたいと考えています、ご希望のトピックなどがあれば、私の方までご一報下さるようお願い致します。

企業研究・工場見学担当

亜細亜大学 大島正克

事業計画では年2回開催予定となっています。2014年度の企業研究・工場見学のスケジュールは以下の通りです。

- 第1回 (2014年8月6日) 日立建機株式会社 (茨城県土浦市) にて開催いたしました。14名の参加がありました。1時間半にわたる工場見学と後明廣志氏 (開発本部, VMコンサルタント, 日立CVS会会長) のパワーポイントを使ってのご講演等があり、特に建設機械の世界的動向とVEに関して大変勉強になりました。
- 第2回目は現在未定ですが、関東以外を検討しております。決定次第、広報させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

リサーチセミナー担当

名古屋大学 木村彰吾

リサーチセミナーは年2回開催することになっており、ここ数年は、国内外の他学会との交流を深めるために共同で開催することもあります。昨年度本学会の20周年の記念行事として英文雑誌が出版されましたので、新しい試みとしてその執筆者の方の研究報告も考えて理います。

2014年度実施のリサーチセミナーは、次の通りです。

- 第1回2014年10月：日時場所は未定
- 第2回2015年2月または3月

地方部会担当

名古屋大学 木村彰吾

日本管理会計学会では、地方部会として関西・中部部会と九州部会を置いています。地方部会の最大行事である部会大会では、全国に分散する会員の皆さまに研究報告の場を身近に提供しております。部会大会には、新会員の獲得など、学会の足腰を強くするといった役割もあります。日本公認会計士協会の地方会員にCPEの機会を提供など、部会大会を広く開放することにより、コミュニティーへ貢献の強化を進めております。また、近年の経済活動のグローバル化の特徴として、地方の中堅中小企業が海外に進出することが挙げられます。地方部会がこうした企業との連携を深め、あたらしい研究成果をあげられることも期待されます。

内外学会コラボレーション担当

関西学院大学 浜田和樹

管理会計が対象としなければならないテーマは多岐にわたっていますので、関連学会との連携が問題解決に有効である場合も多いと思います。これまでも、管理会計学会のメンバーとの重複が多い日本原価計算研究学会との連携を、リサーチセミナーの共同開催等により強めてきました。また海外との関係では、アジア太平洋管理会計学会 (Asia-Pacific Management Accounting Association: APMAA) との協力関係を築いてきました。今後は、それらの学会との連携をより一層充実させるとともに、経営財務研究学会、組織会計学会、経営分析学会等の学会とも、大会や研究会を通じて協力関係を築いていければと思っています。内外の学会との協力関係により成果をもたらすような企画は、できるだけ実行したいと思っていますので、よいアイデア等がありましたら教えてください。

実務家交流担当

公認会計士 横山和夫

教育と研究をグローバル化するためには、国際的に普遍化した理論を研究するとともに、日本特有な管理会計

実務を合理的に理解できる理論モデルを構築していかなければなりません。この意味で実務家との積極的な交流に根ざした日本固有の研究活動を推進していかなければならないことでしょう。このように実務家との積極的な交流は学会や会員にとって重要な視点を提供することになります。

また学会の各プログラムにおいて日本公認会計士協会 CPE 認定研修プログラムの承認を受け、公認会計士に研修の機会を提供するとともに、公認会計士との交流を積極的に推進することも重要であると認識しています。

このような視点から創造的な日本固有の研究を促進する努力を傾注するために、実務家との交流をより一層充実していきます。

学会誌担当

甲南大学 上埜 進

学会誌「管理会計学」の編集委員長を務めることになりました。微力でございますが、学会誌の充実を通じて本学会の研究活動の進展に尽力致したいと思っております。従来通り、年2回の発刊を予定しておりますので、学会誌投稿規定にしたがって、奮ってご投稿下さいませよう、お待ちしております。なお、電子媒体を積極的に活用し、投稿者や査読者との交信の迅速化・簡易化をはかりたく存じますので、ご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

投稿先：〒 658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学経営学部 杉山善浩研究室 気付
日本管理会計学会 学会誌編集委員長 上埜 進
E-mail : ueno@konan-u.ac.jp

学会賞担当

関西大学 水野一郎

■ 学会賞の種類

- (1) 特別賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論もしくは応用について、多年にわたり特に優れた研究業績や教育業績があると認められた者または本学会の運営に特に顕著な功績があると認められた者に授与する。
- (2) 功績賞：学会の大会及び研究会等での報告や執筆で顕著な貢献があるととともに学会活動に顕著な貢献があったと認められる者に授与する。
- (3) 論文賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する

理論または応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文の執筆者に授与する。受賞対象論文は学会誌に掲載された論文とする。

- (4) 文献賞：管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論または応用の発展に貢献するところが顕著であると認められる論文以外の一般に公刊された著書等の著者に授与する。
- (5) 奨励賞：若手研究者の研究を奨励するため、管理会計学およびその隣接諸科学に関する理論または応用について内外の研究誌等に掲載された論文等の執筆者に授与する。

■ 事業計画

上記の学会賞に適合した学会員を公正かつ透明に選定し、来る年次全国大会の総会で承認を受け表彰します。

広報担当

東北大学 青木雅明

広報活動には、メーリングリストによる各種研究会(年次全国大会、フォーラム、リサーチセミナー、地方部会、企業研究会)の案内、学会全般に関わる規定改定などの連絡、ホームページ(HP)のメンテナンス、それにJAMA NEWSの発行があります。

HPについては伊藤前副会長(専修大学)の下、その内容の充実が図られてきましたが、今年度も引き続き、HPによる会員間の情報の共有を行っていきたくと考えています。また、グローバル化を視野に入れ、学会HPの英語化にも取り組んでいきたいと考えています。JAMA ニュースについても紙媒体ではなくHPでの公開、メールによる配信をしていきたいと考えています。

会員・寄付・募金担当

公認会計士 横山和夫

2014年4月末現在における会員の状況は、正会員632名、準会員84名、賛助会員7社、特別会員3名で合計726会員となっています。会員数は昨今、増加傾向から微減傾向に推移しております。会員の増加や多様化は、学会活動を活性化するために不可欠な要素になります。

そこで、会員の増加を確保する方策として次のような活動を予定しています。

(1) 会員が関東に偏在することから、関東以外の地域における会員の増加を図ること、(2) 最近、実務家会員が増加しているものの一層の会員を増加するよう努力すること、(3) 会員の多様化を図り、賛助会員の増加を図ること。

もちろん会員の数増加ばかりでなく、賛助会員の増加によって学会活動の質的向上と財政的支援を確保して、学会の安定的発展を目指します。

予算・決算・総務担当

早稲田大学 清水 孝

総務(予算・決算・連絡窓口)を担当することになりました。学会へのご連絡は、私が担当させていただきます。ご質問・ご要望などございましたら、ご一報いただければただちに関係の各先生方と相談して対処して参りたいと考えております。また、会計業務につきましては、適正かつ迅速な執行をして参る所存でございます。裏方の業務ではございますが、学会運営をサポートする重要な役割と認識しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学会業務日誌

2014年4月26日(土)

▼常務理事会開催(早稲田大学早稲田キャンパス)

- ◆ 2014年度事業計画(案)が承認されました(詳細につきましては6ページをご覧ください)。
- ◆ 常務理事および理事の業務分担(案)が承認されました(詳細につきましては2~3ページをご覧ください)。
- ◆ 新入会員17名(正会員11名・準会員6名)、退会者8

名が承認されました。

- ◆ 2014年4月26日現在、正会員は632名、準会員は84名、特別会員は3名、賛助会員は7社、合計会員数は726会員であることが報告されました。

2014年7月26日(土)

▼常務理事会開催(首都大学東京南大沢キャンパス)

- ◆ 2013年度収支決算（案）が承認されました。
- ◆ 2014年度収支予算（案）が承認されました。
- ◆ 新入会員14名，退会者4名が承認されました。
- ◆ 国際学会参加費の助成が承認されました。
- ◆ 2014年度年次全国大会(青山学院大学)の準備が順調に進んでいることが報告されました。
- ◆ 2014年7月26日現在，正会員は636名，準会員は90名，賛助会員は7社，特別会員は3名，合計会員数は736会員であることが報告されました。

<事業計画>

研究活動について:

- 年次全国大会 1回開催（青山学院大学）
- フォーラム 3回開催
- 企業研究・工場見学 2回開催
- リサーチセミナー 2回開催
- 地方部会：九州部会，関西・中部部会
- 学会誌『管理会計学』2回刊行
- 学会賞の授与
- 内外学会とのコラボレーションの推進

広報・会員サービスについて:

- 学会 HP の充実
- JAMA NEWS の発行

その他:

- 創設 20 周年記念事業の推進
- 会員数・賛助会員の増大と財政基盤の拡充

新入会員の紹介

- 正会員(敬称略)
18名入会
- 準会員(敬称略)
13名入会

事務局からのお知らせ

- 学会事務局が以下の通り早稲田大学に移転したのでお知らせいたします。なお、メールアドレスに変更はありません。
- フォーラムやリサーチセミナーの案内等，会員宛の連絡にEメールを活用したいと考えています。Eメールアドレスを未登録の方は，学会事務局までご連絡ください。また，すでに登録されている方で，案内等が届かない，あるいは，Eメールアドレスに変更があった場合には，速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者：青木雅明

メンバー：伊藤和憲，河合久，安酸建二，木村史彦，岩田弘尚，間普崇

発行機関：日本管理会計学会

◀本部事務局▶ 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学大学院会計研究科 清水孝研究室内 日本管理会計学会事務局

E-mail：jama-info@sitejama.org

http://www.sitejama.org/